

留 学 報 告 書

平成 29 年 5 月 20 日

学 部 法文 学科・課程 言語文化・英米・ヨーロッパ
氏 名 飯間 陽佳

※ 留学先大学での成績証明書を添付すること。(島根大学に直接送付される場合はよい)

1. 留学先大学・学部 国名 フランス
大学名 リヨン第3大学

現地到着日 (2016 年 8 月 26 日) 授業開始日 (2016 年 8 月 29 日)

現地出発日 (2017 年 4 月 25 日) 授業終了日 (2017 年 4 月 14 日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

- ・VISAの取得 → 在日フランス大使館領事部でセッションで申請。
- ・DELTA 受験 → 語学力認定レベルが指定されたため受験し担当教員に証明書を書いてもらうのが良かった。
- ・フランスでの住まい決め → ネットを選んで決定後支払い完了で部屋をキープできる。
- ・買い物 → 留学で必要なものを買って準備した。

3. 自宅から留学先大学までの交通手段 (乗物の種類, 乗り換え地, 所要時間)

飛行機 計16時間 (伊丹^(2h) → 成田^(12h) → シャルルドゴール^(2h) → サンテティエリ)

D-エクスプレス 30分 (サンテティエリ → リヨン市内) パールテ駅

メトロ 10分 (パールテ駅 → サンズン駅)

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

・保険加入 (ネット必要事項記入 → 支払い → 保険会社に行く [戸籍謄本、在学証明書
学生証等持参] → 番号発行)

・OFII (手紙郵送 → 移民局で健康診断) ・携帯契約 ・銀行開設

・授業登録 (ネットHP) ・学生証発行 (国際課 relation internationaleで)

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

オリエンテーションの内容 : 配布資料に基づいて、大学サイトの見方や授業の
選り方、その他活動などの説明

プレースメントテスト : 文法のテストでマーク式

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

基本的に予習必須

先生が"ずっと"話している それに対して随時質問していくスタイル。

(私はタピオン"お礼書"が"速い"ので)ノテを取っていたけど、(ほとんど)の人が
パソコン持参していた。

テストは授業で習うこと。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

Langue et text (japonais) という授業は翻訳訳の授業でこの
授業のおかげで"フランス語力が"ついたと思う。この授業で"訳す"力を付けて
後は、好きで興味のあるもの(歴史や文化など)を取れば
良いと思う。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

CROUS → 大学が管理するアパート (生活のためのもの)

まず、CROUSは一般のアパートより安い。それから、大学と連携しているため、手続きが楽だと思われる。

また、CAFという住居手当での制度を利用することも勧めます。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子 (行事など)、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、(いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等)

8月29日からしか入寮できなかったため、私は到着後2日間程ホテル滞在しました。特に困ったことはありませんでした。

私の寮はシェアキッチンでしたが、キレイで毎日掃除もしてくるので良かったです。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

(どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等)

BNP Paribas という銀行で口座開設しました。

基本的に現金は20もぐらいしか持ち歩きません。

(また、キャッシュカード付きデビットカードを利用していました。)

自宅からは国際送金してもらいました。

11. キャンパス案内 (どんなとき、どこへ行けばよいか等)

Relation International という国際課のような場所がある。

私はそこでBNPの手続きも済ませられ、基本的に留学生のための案内をそこで受けられます。

2階にアジア人留学生担当のYANGさんがいるので、学生証発行はその人に頼みました。

12. 現地案内 (買物, 銀行, レストラン, 理髪店, 美容院等の様子)

スーパーは Carrefour, Franprix, Monoprix など基本的な買い物をしていました。

Part-Dieu にショッピングセンターがあるのでそこに行けば何でも手に入ります。

13. 失敗談 (どんな小さなことでも)

旅行前に列車の中でスリに合ったことです。

フランス生活にも慣れてきた頃で少し気が緩んでいたのかもしれません。その後の対処はすぐ済ませたので被害は大きくはなかったですが、もっと注意を払うべきだったと後悔しています。

14. 病気になった場合の対応について (医療費はどのようになっていたか, 保険等はどのようにしたか)

病気にならなくていいので詳しく分かりませんが、フランスの病院はまず、総合的なPTIに行って診てもらいます。そこでどの専門に行けばと指示され、それから専門病院に行きます。1回1回予約を取らなければいけないので結構時間がかかります。

15. お世話になった方々

フランス人の友人、友人の両親

島根大学出身のリヨン在住の方

ボランティア活動家 (現地の子どもたちには日本語を教える補習校) の先生

16. 留学先国内旅行について (場所, 手段, 費用, 旅行社等)

10月 × 3	600円) TGV
ホテル	100円	
タクシー	70円	
グリーンビル	100円	
(場 所)	(費用)	(手段)

17. 気候と服装について

冬はとて寒いので。フランスでロングのダウンコートを購入しました。(日本から持参したコートでは寒すぎたので) 室内はあたたかいです。とて乾燥しています。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの (学用品, 衣服, 食品, 薬, 運転免許証等)

シャンプー & リンス

風邪薬

女性用品

19. 留学に際し最も役立った本は (専門書, 旅行案内書を含めて)

サイトをよく活用したので本は特にありません。

20. ホームステイの依頼方法

していただけるので「かかりません」。

21. 留学費用について

1) 旅費	計 (送)	18万	円,	(復)	_____	円
2) 準備費用		5万			_____	円
3) 大学へ納入する費用		_____			_____	円
授業料 (年間合計)		_____			_____	円
保険等その他の費用		2500			_____	円
					↳ 約3万	
4) 住居費 (光熱費等含む)		2500/1ヶ月			_____	円 → 約3万
5) 衣服代, その他雑費		40,000			_____	円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等		13,000			_____	円
7) 留学先国内旅行費用		13,000			_____	円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額		1043,000			_____	円
現地通貨 _____						日本円換算 _____ 円

島根大学の学費のみ
(半年分 → 26万円?)

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

捨てるでもいい服を持って行くので「衣類はしましよ」

捨てるだけ帰ってきました。

大きいスーツケース2個だけ帰ってきました。

留学して得たことは、まず「語学」です。まだ「まだ」流暢に話せるレベルには程遠いですが、行く前と比べると成長しました。

次に「精神面」での成長です。フランスでの手続き等は、日本ではあり得ない程雑で、人の対応も悪いことがよくありました。大切な書類を失くされることもめずらしくなく、自分のミスを相手に上げて当たり前が「辛い」こともありました。初めの頃は、そういった対応にいちいち落ち込んでいましたが、慣れていくうちに自分の意見を強く主張できるようになりました。

また誰かが「助けてくれる言葉」(はたふいのび)「何でも自分で対応できる問題」解決もつきました。それが「発揮」できた「感じ」たのが「ズリ」に合った時でした。

また、ささいな事にも「感謝」できるようになり、それを伝えられるようにもなりました。例えば、宅配物が「期限通り」に届くことは当たり前だと思っていたのですが、それが「ない環境」で過ごす、こういうこともありがたいうちのた「気づく」ことができます。また、フランス人は日本人以上に「ありがとう」と言うと思います。思うだけだけでなく伝えることの大切さも「気づく」ことができました。留学前より「感謝」を伝える「行」が「増え」ました。

「たくさん」の「ことを学ぶ」、とても「楽しく充実した」留学生活を送ることができました。フランスで生活することで「良い面」も「悪い面」も「知る」ことができ、これは「旅行」では「分からない」貴重な「体験」だと思われました。留学を「可」るに「当」て、支え「下」さった「多く」の人に「感謝」しています。